

ワンストップ施工、付加価値を追求して金属建材を内製化

課題

ローコストで意匠に優れた建材で雨対策が万全な施工を目指す

既製品の建材は高価で、あらかじめ発注ロットとサイズが決められています。施工する際に多くの手直しが発生して竣工までのリードタイムが長引き、コストと手間を要します。そこで自社工場へ最新の動力折曲機を導入して建築建材の製造ラインを構築。ローコストで意匠性の高いものを提供し、雨漏りが発生しにくい施工を実現させるという課題が明確になりました。従業員の施工技術力を融合させ、竣工までのリードタイム短縮と人件費削減も可能です。モチベーションアップを図って福島県トップクラスの専門業者へ成長を図り、下請け受注から脱却して直接お客様に営業できる体制を整えようと考えました。

実施内容

厚さ0.8mmのガルバリウム鋼板が指定角度に達するかどうかを検証

壁・屋根に使用する金属建材の加工では定評のある動力折曲機を導入しました。板厚0.3～1.2mmに対応、6mの長尺物でも一人で作業できます。シャーリング機や他の折曲機を配置して工場をライン化し、リードタイム短縮、コストダウンを図れるか検証しました。試作では、厚さ0.8mmのガルバリウム鋼板を幅300mm×長さ2m・4m・6mに切断。指定角度30°・45°・90°・135°で折り曲げ、1回で要求水準に達することを確認しています。指定の精度を超えて曲がった場合、旧来の方法では手直しが効かず材料ロスに直結していましたが、この課題も解消しました。

成果

現場では板金（納め）加工が不要。施工のみ行い、人件費コストも削減

一般店舗等380㎡の屋根を施工するケースを想定しました。これまでは長さ4mの金属材料を加工していましたが、動力折曲機の導入で長さ6mまで加工できるようになり、約33%コストダウンを見込めます。テスト加工した結果、自社工場での内製化による板金加工材の精度が高まっています。こうして外注加工費はゼロにできるという判断に至りました。現場では板金加工（納め加工）が最小限度になったため、施工現場での取材がスムーズになりました。平均で15人工が必要とされていましたが、新しい方法だと12人工で対応できるようになりました。建材コスト17%、材料ロス率8%、投入人数は2人工の削減となり、リードタイムは4日の短縮。コスト削減も進み、他社との差別化による施工体制が整いました。

今後の展望 Future outlook

技術力・施工力が差別化ポイント。業界の活性化、発展に向けた役割も

動力折曲機を導入して金属建材の内製化ならびに現場での施工、アフターフォローというワンストップサービスを構築します。「納め」には経験やノウハウが必須で、その良し悪しが金属建材の耐用年数に影響します。あらゆる形状を製造できる技術力とともに秀でた施工力が、競合他社との差別化ポイントです。工場に設備を導入して金属建材製造が効率化され、生産キャパシティが増加。機械損失のロスを改善したり、他社から建築板金加工を受注したりして収益性を高めてきました。弊社の営業先は一般消費者、事業所・公共施設、設計事務所に大別できます。複雑な案件も対応出来るよう加工設備の充実をはかり、業界の活性化と発展に向けた役割も担っていきたいと考えています。

Company introduction

株式会社 柳沼板金店

〒963-4316

福島県田村市船引町芦沢字城ノ内43

TEL 0247-82-2278 FAX 0247-82-5324

代表者 代表取締役 柳沼 実

設立 1970年（昭和45年）6月

資本金 3,000万円

従業員 15名

U R L <http://www.yagiban.jp>

主な事業内容

建築板金と呼ばれる屋根・壁に関する専門工事の技能集団です。成長要因に挙がるのがISO9001とISO14001のダブル認証取得です。実績を重ねて環境対策へ力を注ぎ、プロの視点で新しい工法や商品の普及に努めています。ECO 遮熱工法では、自社開発したファイブクリップ（特許：第5616554号）という金具を天井に使って暑さ・寒さ対策を実現、同時に建築物の省エネ性能を高めています。

